

この計画書はこうしてつくられました（計画策定のプロセス）

1 作業部会を設置しました。

- 福祉課 4 名、社会福祉協議会 3 名、計 7 名でスタートしました。



2 策定委員会を設置しました。

- 3名の公募委員を含め、計 21 名の委員で協議しました。



3 策定検討会を設置しました。

- 関係課 16 名、オブザーバー 8 名、計 24 名で協議しました。



4 志布志市のことを知るために、さまざまな調査を行いました。



5 計画の課題をまとめました。

- 各種調査から見えるさまざまな課題を 3 つに大きくまとめました。



6 3つの基本目標と具体的な取り組みを検討しました。

- 市民や地域の視点で考えました。

市民や家族、地域の取り組み

- 市や社会福祉協議会の役割や取り組みを検討しました。

社会福祉協議会の取り組み

市の取り組み



8 計画の推進方法を考えました。

- 地区座談会で評価・見直しを行います。
- 推進委員会を立ち上げます。
- 実施計画を策定します。



7 パブリックコメントを実施しました。

- 策定した計画の素案をホームページや市役所、社会福祉協議会で公表し、意見を募集しました。



計画のスタートです！

地域福祉計画・活動計画は策定がゴールではなく、身近にできることから、一つずつ取り組んでいきましょう。

計画策定にあたって

本市の第1次志布志市振興計画では、まちづくりの基本理念として「志のあふれるまち」を、将来像として「やすらぎとにぎわいの輪が協奏するまち」を掲げ、各施策や事業の着実な実施に努めています。

本市の福祉の現状を見ますと少子高齢化とともに、個人の価値観やライフスタイルの多様化から核家族化が進展し、家族や地域でお互いに支え合う力が弱まっています。

このような社会の変化を背景に、地域住民、関係機関・団体、行政などが協働し、助け合い、支え合う仕組みづくりを共に進めていくことが求められてきました。

このようなことから、今般、市民と行政、社会福祉協議会及び関係機関が連携し、行政が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」、また、住民参加による「地区別活動計画」を一体的に策定し、「自助」「共助」「公助」の役割分担を明確にして、地域の実情に即した、実効性のある福祉のまちづくりの指針となる「志布志市地域福祉計画」を策定いたしました。

この計画では、「みんな笑顔！ 志あふれる 結のまち しぶし」を基本理念としまして、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も誰もが地域において、生き生きとみんな笑顔で安心して暮らすことができ、「志布志市に住んでよかった」と思えるようなまちづくりに努めてまいりたいと思います。

この地域福祉計画は、何よりも市民の皆様方の主体的な活動が、大きな役割を果たすことになり、市民の皆様方の計画の趣旨、理念を御理解いただき、思いやりと共助の精神の醸成により、計画推進に参加していただければ幸いと存じます。

また、本計画は、平成26年度において見直される「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」「障害者計画及び障害福祉計画」「子ども・子育て支援事業計画」等の福祉部門に関する個別計画との連携を図りながら、その推進を図ってまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、御協力いただきました志布志市地域福祉計画策定委員会の皆様をはじめ、市民意識調査や住民座談会などを通じて貴重な御意見、御提言をいただきました多くの市民の皆様方に心から感謝申し上げます。

平成26年3月

志布志市長 本田 修一



計画策定にあたって

志布志市社会福祉協議会は、平成 18 年 1 月の市町村合併に伴い、旧松山町・旧志布志町及び旧有明町の 3 町社会福祉協議会が合併して 8 年を経過したところですが、志布志市に限らず全国的に少子高齢化、核家族化が進み、家族による介護や子育てをする機能の低下と地域社会のつながりの希薄化などにより、人々の暮らしの基盤である地域社会の環境が大きく変化しつつあります。



また、一人暮らしの高齢者や障がい者の増加など、地域の福祉課題の多様化により、これまでの公共の福祉サービスだけでは対応が難しくなり、地域における助け合い、支え合い社会の構築が必要になってまいりました。

こうした社会情勢の中、志布志市社会福祉協議会は志布志市と一体となって、市民の皆様と協働し、いつまでも安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進するため、平成 26 年度から平成 30 年度まで 5 か年の「志布志市地域福祉活動計画」を策定しました。

計画の策定にあたり、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせることのできるまちづくりを目指すことを目的とし、基本理念を『みんな笑がお！志あふれる 結のまち しぶし ～ ともにつながり支え合う 安心して生き生きと暮らせるまちづくり～』とし、3つの基本目標を定め、志布志市の地域性や実情に応じた取り組みを計画いたしました。また、この計画の特徴は、地域福祉の推進単位を、12 地区と定め、それぞれの地区において「地区活動計画」を策定し、身近な地域で地域福祉の推進を図る具体的な活動計画を定めたことにあります。

これらの目標を実現していくためには、地域住民、民生委員・児童委員、ボランティア、NPO法人、社会福祉協議会、事業者、行政・関係機関・団体等がそれぞれの役割を發揮するとともに、協働した取り組みを進めていく必要があります。推進にあたっては、関係各位のより一層のご支援ご協力を賜りたいと存じます。

結びに、この地域福祉活動計画の策定にご尽力いただきました「志布志市地域福祉活動計画策定委員会」の皆様にお礼申し上げますとともに、市民意識調査、福祉団体等アンケートや住民座談会にご協力いただきました多くの皆様にご心より感謝申し上げます。「志布志市地域福祉活動計画」策定にあたってのごあいさつといたします。

平成 26 年 3 月

社会福祉法人 志布志市社会福祉協議会
会長 竹井 道徳